

Hip Joint news

(公財) 日本股関節研究振興財団会報

URL <http://www.kokansetu.or.jp>

E-mail info@kokansetu.or.jp

第9号 平成31年 1月

発行 公益財団法人
日本股関節研究振興財団
〒154-0011

東京都世田谷区上馬 1-13-11

電話 03-3421-6552

FAX 03-3421-6716

創立30周年に寄せて

公益財団法人日本股関節研究振興財団 顧問

公益社団法人日本医師会

会長 横倉義武



新年、明けましておめでとうございます。「HIP JOINT NEWS」創立30周年記念号の発行にあたり、日本医師会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。はじめに、日本股関節研究振興財団が創立30周年を迎えられましたことに対し、心よりお祝い申し上げます。

貴財団は、創始者の伊丹康人先生が、「股関節疾患で苦しんでいる方々のために、その進行予防と治療の研究開発を推進したい」との思いから、私財を投じて設立された財団であり、故伊丹先生の思いに大いに共感するとともに、その行動力に深く敬意を表する次第であります。昨年、京都大学高等研究院副院長、特別教授本庶佑先生が、ノーベル医学・生理学賞を受賞されるといふ、医療界において嬉しいニュースがありました。昨今、我が国の科学研究の分野

では、補助金削減や予算配分の不均衡等から、研究者数や論文数が減少傾向にあり、国際的競争力も低下を続けております。特に、すぐに成果がでないような研究には手当が不十分なのではないかと危惧されますが、直ちに成果が出ない研究であっても、やがて大きな実を結ぶものもあり、地道な基礎研究の積み重ねの上に、多くの人を救う研究があるのだと、基礎研究の重要性を改めて強く感じているところでもあります。貴財団がこの30年間行ってきた研究助成事業は、多くの若い研究者を育て、その後、助成を受けた方々が支援をきっかけに躍進され、活躍されていることを思うと、我が国への多大なる貢献であると感しております。また、貴財団の推進する健康寿命の延伸は、日本医師会においても重要な課題であります。我が国では、国民皆保険のもとで世界最高水準の平均寿命を達

成し、有数の長寿国となりました。一方、その健康寿命は、平均寿命に比べ約10年も短いことから、そのギャップを縮めるための取り組みを進めていくことが喫緊の課題となっており、元気で長生きをするために、股関節はとても重要な器官であるにも関わらず、一般の方が知識を得る機会はありません。貴財団が積極的に行っている普及啓発事業の成果に、多いに期待を寄せているところでもあります。日本医師会も貴財団と志を同じく、国民への健康づくりに関する意識涵養等、予防と健康管理に関わる取り組みを一体的に推進し、健康寿命の1層の延伸を図ることで、真の「健康長寿社会」の実現を目指してまいります。結びに、日本股関節研究振興財団が今後ますます発展し、我が国の股関節研究の推進と、股関節に関する国民の理解促進に寄与されることをご期待申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

第29回 股関節研究セミナー 開催

去る平成30年10月26日(金)、名古屋国際会議場第2号館212号室にて第29回股関節研究セミナーが、開催されました。股関節学会期間中、夕方からの開始ながら、熱のこもったセミナーとなりました。

平成30年度股関節研究助成、海外研修助成、国内研修助成決定

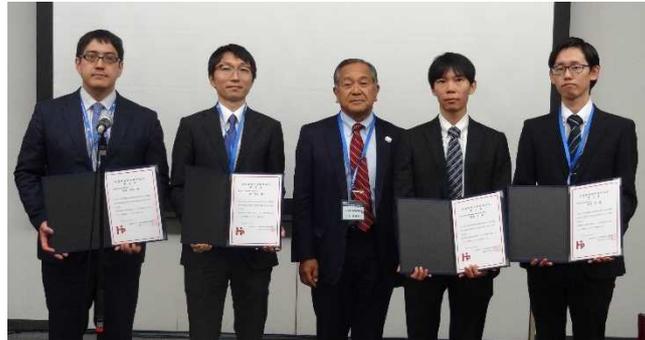
企業様からのご寄附と皆様からの「股関節らくらく募金」は、下記の助成金に使用されました。温かいご支援に、感謝いたします。



股関節研究助成金交付者 3名



股関節海外研修助成交付者 3名



股関節国内研修助成交付者 4名

股関節研究助成研究課題と交付者

「第一・第二世代 XLPE 製寛骨臼ライナーの厚みが機械的耐久性に及ぼす影響の解明」

東京医科大学

立岩 俊之 先生 70万円

「急速破壊型股関節症の早期診断方法の確立」

神戸市立医療センター中央市民病院

安田 義 先生 70万円

「スクレロステン分泌低下に伴う大腿骨近位部骨折予防戦略」

信州大学

中村 幸男 先生 70万円

股関節海外研修助成交付者

研修施設:リヨン大学、ローストック大学、ベルン大学

松下会 白庭病院 岩切 健太郎 先生 35万円

りんくう総合医療センター 藪野 互平 先生 35万円

金沢大学 整形外科 大森 隆昭 先生 35万円

股関節国内研修助成交付者

研修施設:京セラ株式会社野州工場、医療法人社団紺整会船橋整形外科病院

社会福祉法人仁生社江戸川病院人工関節センター、東京慈恵会医科大学整形外科

北海道大学 整形外科 清水 智弘 先生

産業医科大学 整形外科 塚本 学 先生

研修施設:帝人ナカシマメディカル株式会社岡山工場、北海道大学整形外科、医療法人社団我汝会えにわ病院

横浜市立大学 整形外科 池 裕之 先生

東海大学 整形外科 鵜養 拓 先生

平成27年度股関節研究助成金交付者による研究成果報告

報告1)「高齢発症変形性股関節症の疫学と病因に関する研究-骨粗鬆症の関与から、病態解明・予防に向けて-」

鹿児島大学 石堂康弘先生

報告2)「滑膜由来炎症性メディエーターに着眼した前・初期股関節症における疼痛発生機序の解明」

北里大学 福島健介先生

報告3)「人工股関節再置換術時骨欠損部における骨髄内骨再生技術の開発」

大阪市立大学 大田陽一先生

報告4)「大腿骨近位部骨折受傷後に回復期リハビリテーション病棟に入院を要した要介護高齢者の身体機能予後について」

東京大学 柴崎孝二先生



石堂康弘先生



福島健介先生



大田陽一先生



柴崎孝二先生

平成30年度股関節海外研修助成及び国内研修助成成果報告



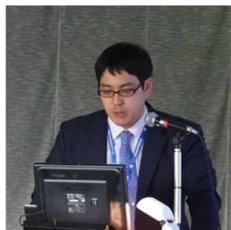
岩切健太郎先生
海外報告1



藪野互平先生
海外報告2



大森隆昭先生
海外報告3



清水智弘先生
国内報告1



塚本学先生
国内報告2

第19回股関節市民フォーラム

去る平成30年11月18日(日)第19回股関節市民フォーラムをコンgresクエア日本橋にて開催いたしました。下記の3つの講演が行われ、ほぼ定員いっぱいの大変盛況な市民フォーラムとなりました。

①「ロコモとフレイル、ご存知ですか？」

講師 泉田良一先生 江戸川病院慶友人工関節センター長・当財団 専務理事

②「ロコモーショントレーニング-骨トレ体操-」

講師 太藻ゆみこ氏 メディカルフィットネス研究所代表・健康運動指導士

③「特別講演:骨と関節のアンチエイジング-90歳になっても痛みなく歩くための秘訣とは-」

講師 斎藤充先生 東京慈恵会医科大学整形外科学講座 准教授



斎藤充先生

まず、第1講演では江戸川病院慶友人工関節センター長であり当財団の専務理事の泉田良一先生が、ロコモティブシンドローム、フレイル加えて、加齢による筋肉量が減少してゆく「サルコペニア」も含めた定義づけを説明されました。第2講演では、骨粗鬆症予防をテーマとしたロコモーショントレーニング「骨トレ体操」を当財団の運動指導者である太藻ゆみこ氏が、実技を行いました。第3講演は特別講演として、骨粗鬆症の日本屈指の専門家である東京慈恵会医科大学整形外科学講座准教授の斎藤充先生にご講演いただきました。日本の骨粗鬆症の現状～骨粗鬆症のメカニズムを明解に説明され、大変好評な講演となりました。

休み時間を利用して行われた協賛会社様のブースも大変好評でした。この度も多くの協賛会社の皆様のご協力を得て、素晴らしいフォーラムを行うことができました。

この場を借りて深謝いたします。

HJFJ 人工股関節ステッカー

人工股関節の手術をうけた患者様からのご要望で、海外の空港での金属探知機ゲートでエラー音がなるので、「外国語での説明が難しい」とのご相談が寄せられたため、人工股関節患者であることがわかるように当財団で人工股関節のイラストと英語表記のあるステッカーを作成いたしました。新聞等にも掲載され、大きな反響があり申込が殺到しております。

※サイズ 7.1cm×4.4 cm

☆入手方法

当財団 WEB サイトから申込いただくか、直接電話にてご連絡ください。

URL <http://www.kokansetu.or.jp/personal/hjfsticker.html>



股関節クレジット募金と股関節らくらく募金のご紹介

お手持ちのクレジットカード (VISA・MASTER・JCB・AMEX・DINERS) から、「毎月継続」、「今回 (1回)」の2種類より、簡単に募金を行えるようになりました。パソコン、タブレット、スマホより、当財団「股関節クレジット募金」ページにアクセスしていただく募金です。

また、口座振替の「毎月継続」タイプの「股関節らくらく募金」もご紹介します。

是非、未来の股関節研究、ひいては股関節疾患を患っている患者様のために、ご支援いただければ幸いです。

「股関節クレジット募金」ページ URL

http://www.kokansetu.or.jp/rakuraku/donation_credit.html

「股関節らくらく募金」ページ URL

<http://www.kokansetu.or.jp/rakuraku/about.html>



役員名簿

理事長 別府諸兄 (聖マリアンナ医科大学名誉教授)

専務理事 泉田良一 (江戸川病院 慶友人工関節センター長)

理事 飯田寛和 (関西医科大学総合医療センター 人工関節センター長・理事長特命教授)

岩本幸英 (九州労災病院 院長)

大久保康一 (藤崎病院 副院長・整形外科部長)

白土英明 (船橋整形外科病院 院長)

清家輝文 (編集工房ソシエタス 代表)

帖佐悦男 (宮崎大学 教授)

富森浩二 (帝人ファーマ(株)在宅医療事業本部 担当部長)

内藤正俊 (福岡山王病院 病院長)

中島義雄 (ナカシマホールディングス 常務取締役)

樋口富士男 (柳川リハビリテーション病院 病院長)

安永裕司 (広島県立障害者リハビリテーションセンター) 所長

監事 東郷良尚 (公財) 日本ユニセフ協会副会長

下西惇夫 (元帝人(株) 事業管理部長)

一青勝雄 (順天堂大学医学部整形外科学講座客員教授)

秋山治彦 (岐阜大学 教授)

石井千恵 (清心会藤沢病院 企画調査室長)

大谷卓也 (東京慈恵会医科大学 教授)

大野誠 (日本体育大学大学院 教授)

黒田龍彦 (旭化成(株) ヘルスケア研究開発センター)

谷真人 (日比谷見附法律事務所 弁護士)

富田直秀 (京都大学 教授)

別府裕美子 (メデイカルフィットネス研究所 代表)

本間生夫 (東京有明医療大学 学長)

間島直彦 (愛媛大学 教授)

山本謙吾 (東京医科大学 教授)

米倉芳枝 (前滋賀天産物研究所監査役)

(平成30年12月現在) (敬称略・五十音順)